

2026 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。

1. 建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざします。
2. 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成します。
3. 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養います。
4. 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくります。

2 中期的目標

1.建学の精神を土台とした私学の独自性を発揮する

- (1)創立 100 周年の節目を迎え、教職員が創立者牧田宗太郎の建学の想いに立ち返り、建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「人をつくる」に基づく教育を教職員が理解・実践することにより、児童の人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざす。
- (2)私学としての特色ある教育を実践するために、小学校教育指針に基づく教育計画を構築し、実践することをめざす。

2.基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり

- (1)一人ひとりの興味関心を大切に、学習に自信をもたせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図る。
- (2)指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改良を加えた学習を組み合わせ、より子どもたちにわかりやすく意欲的になれる授業を実践する。
- (3)教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を精選・改善する。また、外部研修を利用し指導力向上に役立てる。

3.自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成

- (1)基本的生活習慣の育成するために、「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯に亘る自律の意識を育まれるような指導を行う。
- (2)児童はきまりやマナーの意義を理解し規律遵守の意識レベルの向上を図る。また、教職員がきめ細やかな指導に力を入れることを目指す。

4.社会性を培う集団活動の充実

- (1)児童の成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探究する。
- (2)集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培う。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を児童が常にふり返られるよう指導する。
- (3)社会性や市民性を育む体験活動のねらいや学習活動を系統立てながら実践する。社会性や市民性を育む体験活動

5.主体的な生き方の尊重

- (1)道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認めあい、共に生きていこうとする態度を養う。
- (2)人権教育 人としての在り方・生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を育成する。また、いじめ等の予防、早期発見のための「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応する。また、配慮が必要とされる児童に対し、教職員が適切な対応を考え、他の児童にも理解できるような指導を行えるように努め、支援領域の研修も実施する。

6.安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実

- (1)児童の生命を守るために、地震などの一般防災に関する対策とマニュアル、不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルを作成し、緊急時の対応を常に再検討し、訓練の実施、校内の安全性を高める。また、災害に備えて備蓄品を整える。
- (2)自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てるために、「非行防止教室」等の外部組織研修を受講させ、一人ひとりの安全意識向上に役立てる。また、学校管理下の事故未然防止を図ると共に、事故が発生した際、「小学校危機管理マニュアル」に従い、児童の命と健康を最優先に迅速かつ適切な対応を教職員は行う。「情報モラル教育」授業を実施し、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を児童に習得させる。特に個人に係わる情報公開の危険性は人権の観点からも指導する。
- (3)落ち着いた環境の下で、安全に学校生活を過ごせるように教室や運動場等の美化に教職員・児童ともに取り組む。また、児童に好ましい環境を目指し、遊具等の設置や補充を計画すると共に、老朽化した設備を修理改修し、校内の安全性を向上する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

*学校教育自己診断の結果と分析(2027年 月実施)

*児童アンケート結果

*保護者アンケート結果

*教職員アンケート結果

「児童・保護者・教員」評価比較

*分析と課題

学校協議会(評価委員会)からの意見

〈小学校評価委員会を開催〉2027年 月 日実施

*アンケートの結果を考察して、以下の点について討議した。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
1. 建学の精神を土台とした私学の独自性	建学の精神の理解と実践と教育計画の構築	<p>①創立 100 周年の節目を迎え、教職員が創立者牧田宗太郎の建学の想いに立ち返り、建学の精神、教育理念のもと、さらなる進化を目指し、教育活動に臨みます</p> <p>②職員研修などを通して、建学の精神・教育理念や方針を理解し、実践します。</p> <p>③小学校教育指針に基づく教育計画の構築し、実践します。</p>	<p>①100 周年の節目に創立者の想い(建学の精神・教育理念)が現在どのように引き継がれているのかを再確認し、新たに始まる次の 100 年に向け、その教育の実践を次世代に引き継ぐ意識を確かに持ち、新たに挑戦します。</p> <p>②教育方針の具体化に関する教員自己評価 4.3 以上を目指します。(令和 7 年度 4.2)</p> <p>③年間教育計画に関する教員自己評価 4.3 以上を目指します。(令和 7 年度 4.2)</p>	
2. 基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり	(1)基礎学力の徹底	一人ひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図ります。 教職員は、学力向上の手立てを研究し、具体的な方策を検討・実践します。	<p>保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価を 4.0 以上に向上します。(令和 7 年度 3.8)</p> <p>学力向上に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 7 年度 4.4)</p>	
	(2)独自のカリキュラムづくり	①指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>良を加えた学習を組み合わせ、より子どもたちにわかりやすく意欲的になれる授業を実践します。</p> <p>②英語教育の充実・ICT 機器を用いた各教科の効果ある授業の実践を目指します。</p> <p>4・5 年生は、個人所有 ipad を用いた学習プログラムを家庭と連携できるよう研究し、実践していきます。</p> <p>英語教育の学力向上を模索し、授業時数や内容を精選し構築します。</p> <p>③児童自身が考え、提案し、自発的に運営していただける学習や活動を精選し、構築していきます。</p>	<p>されている」の評価を保護者 4.2 以上、児童 4.4 以上に向上します。(令和 7 年度保護者 4.1 児童 4.3)</p> <p>②③わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 7 年度 4.5)</p>	
	(3)教員の指導力向上	<p>①研究委員会とともに教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を参考に教育内容を精選、改善します。</p> <p>②外部研修への参加や個人研究・研修の支援制度をつかい、教員の指導力向上と研修内容を教職員間で共有し役立てることを目指します。</p>	<p>①計画的な教員研修に関する教員自己評価 3.9 以上を目指します。(令和 7 年度 3.8)</p> <p>②外部研修への参加や個人研究・研修に関する教員自己評価 3.5 以上を目指します。(令和 7 年度 3.4)</p>	
3.自律の意識を育むための基本的	(1)基本的生活習慣の育成	①「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる	①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価 4.1 以上を目指します。(令	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
生活習慣の育成		<p>自律の意識を育む指導を行います。</p> <p>②意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりし、「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育みます。</p>	<p>和 7 年度 4.0)</p> <p>②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性を育む環境が整っている」の評価を保護者 4.5 以上に向上します。(令和 7 年度 4.4)</p> <p>主体性を重視した指導に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 7 年度 4.3)</p>	
	(2)規律遵守の向上	<p>児童は、きまりやマナーの意義を理解し、規律遵守の意識レベルの向上を図ります。また、教員がきめ細やかな指導に力を入れることを目指します。</p>	<p>児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」の評価を保護者 4.1 児童 4.5 以上に向上します。(令和 7 年度 保護者 4.0 児童 4.4)</p> <p>規則を守る態度に関する教員自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 7 年度 4.1)</p>	
4. 社会性を培う集団活動の充実	社会性や市民性を育む体験活動	<p>①子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。児童の学習意欲が出るように組み立てていきます。</p> <p>②集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培っていきます。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。</p>	<p>①学習意欲の向上に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 7 年度 4.3)</p> <p>②保護者・児童アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価を保護者 4.3 以上児童 4.6 以上に向上します。(令和 7 年度 保護者 4.2 児童 4.5)</p> <p>③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を保</p>	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>③それぞれの学年における体験活動のねらいや学習活動を系統立てながら実践していきます。</p> <p>また、体育会や秋祭りなどの全校行事、修学旅行などの宿泊行事をさらによりよき体験活動になるよう改善していきます。</p>	<p>護者 4.8 以上、児童 4.9 以上に向上します。(令和 7 年度保護者 4.7 児童 4.8)</p>	
5.主体的な生き方の尊重	主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成	<p>①道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認め合い、共に生きていこうとする態度を養います。</p> <p>②人権教育 人としての在り方・生き方を考え他者とともによりよく生きていくための人権意識を育成します。いじめ等の予防、早期発見のため「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応します。また、外部より講師を招聘し、人権講演を計画し、実践します。</p> <p>また、配慮が必要とされる児童に対し、教職員が適切な対応を考え、他の児童にも理解できるような指導を行えるように支援教育の研修を実施します。</p>	<p>①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 7 年度 4.5)</p> <p>②人権意識向上に関する教員自己評価 4.1 以上を目指します。(令和 7 年度 4.0)</p>	
6.安全安心	(1)防災教育・	児童の生命を守るために、	緊急時・防災訓練等安	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
な学校づくりを目指した教育環境の充実	不審者対策	地震などの一般防災に関する対策とマニュアルや不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルなど緊急時の対応を常に再検討します。訓練を実施し、校内の安全性を高めます。特に課題の残った不審者対策は、児童の安全を最優先に、教職員が迅速に対応できるよう検討します。また、災害に備えて備蓄品を整えます。	全対策の教員自己評価 3.7 以上を目指します。 (令和7年度 3.6)	
	(2)危機管理と情報モラル	①自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てることをめあてに、「非行防止教室」等の外部組織の研修を受け、一人ひとりの安全意識向上に役立っています。 また、児童が下校時に安全に電車やバスを利用できるよう駅に教職員が分担を決め見回ります。 ②学校管理下の事故未然防止を図るとともに、事故が発生した際、児童の生命と健康を最優先に迅速かつ適切な対応を行います。「小学校危機管理マニュアル」を作成し、校内研修を行います。 ③「情報モラル教育」授業を行い、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を習得させます。特に個人	①②防災や安全に関する指導の教員自己評価 4.1 以上を目指します。 (令和7年度 4.0) ③マナー・モラルに関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和7年度 4.3)	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		に係わる情報の公開の危険性は人権の観点からも指導します。		
	(3)美化	<p>①落ち着いた環境の下で、安全に学校生活を過ごせるように、教室や運動場等の美化に取り組みます。</p> <p>②子どもに好ましい環境を目指し、遊具等の設置や補充を計画するとともに、老朽化した設備を修理・改修し、校内の安全性を向上します。 今年度、小学校舎内の改修工事はほぼ終わります。しかし駅前改修工事に伴い、通学路や自動車送迎場所の移動工事が行われますので、その期間保護者に変更点を伝え、安全に登下校できるようにします。</p>	<p>①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、保護者 4.5 児童 4.4 以上に向上します。(令和 7 年度保護者 4.4 児童 4.3) 美化に関する教職員の自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 7 年度 4.1)</p> <p>②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価を 4.3 以上に向上します。(令和 7 年度保護者 4.2) 好ましい環境に関する教員自己評価 3.7 以上を目指します。(令和 7 年度 3.6)</p>	
7.内部連携の強化	内部連携の強化	<p>①中学校 小中の系統的な学習が重要であることを自覚し、小学校・中学校それぞれの教員の専門性を融合させ、質の向上に努力します。私学における 9 力年の小中連携のカリキュラムや実践方法を協議し、組織的・計画的な取り組みを模索します</p>	<p>①令和7年度は、内部学園 中学進学者数は 36/81 名(44%)でした。(令和 7 年度中学入学者) 令和 8 年度学園中学進学は、内部進学者 60% 以上を目標とします。</p>	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>中学進学者数が減少した原因を究明し、細やかな進路指導を行います。</p> <p>また、小中連携をより深められるよう、連動のあり方を模索します。授業やクラブ体験を設け、中学の活動に親しみ、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p> <p>②幼稚園 「小1プロブレム」等の課題を踏まえ、幼稚園、保育所及び認定こども園と小学校との連携を一層強化し、子どもの学びの連続性を確保することが重要であり、幼小連携の取り組み方を再考し、教職員の連携を図ります。</p> <p>幼少交流体験（絵本読み聞かせや幼少製作体験）を企画したり、小学校入試説明会・オープンスクールなどの広報活動を拡充し、進学者数増加につながるよう努めます。</p>	<p>②令和7年度(令和8年度生)は、幼稚園からの内部進学者は27名でした。</p> <p>令和8年度(令和9年度生)は、内部進学者40名以を目標とします。</p>	
8.児童募集の対策	児童募集対策	①募集活動を効率よく行うために、統計の結果を基にして計画を策定します。それをもとに、小学校HP・リーフレット・パンフレットを作成し、いろいろなイベントにおいて広報活動を拡充します。	①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価4.1以上を目指します。(令和7年度4.0) ②令和7年度(令和8年度入学生)は60名でした。(令和8年1月現在)令和7年度は募集定員	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>②募集方法や手段・時期を検討し、より多くの私立小学校進学希望者に、web 広告を有効的に活用し、本校に興味を抱かせ進学につながるよう効果的な広報活動を行います。</p> <p>③内部幼稚園受験者を増やすために、幼小合同カリキュラムを作成し、そのプログラムを企画し実践していきます。</p> <p>④外部幼稚園やこども園、幼児教室での入試説明会や体験授業を実施し、外部からの受験者増加につなげます。特に前年度本校進学予定者の幼稚園・こども園には、幼小連携や広報活動を行うため、訪問します。</p> <p>⑤私立小学校受験希望者に、本校の教育方針や特色の理解、教育活動を賛同してもらえよう、インスタグラムなどの SNS で利用し、より多くの保護者に広報活動に役立てていきます。</p>	<p>充足 80 名以上を目標とします。</p>	